



ゆかりびと

第 31 回

NIJINアカデミー 栃木矢板校

教室長 竹村 実可子

さん



不登校を「希望」に 地域と創る新たな居場所づくり

『学校に行きたくない』『ご飯を食べたくない』『夜だから早く寝なさい』……。『そんな声掛けをやめるまでに、半年かかりました』そう振り返るのは、県内初となる不登校の小・中・高校生向けメタバース（オンライン）スクール「NIJINアカデミー」のリアル教室「栃木矢板校」を5月8日にオープンした竹村さんです。

長女・咲希さんが小学校へ入学し、環境の変化になじめず不登校になったのは3年前のこと。児童発達支援施設で働きながらピアノ教室を運営していた竹村さんですが、時間をつくり適応支援教室（チャレンジハウス）やフリースクールなど、咲希さんが過ごせる居場所を探し回りました。しかし、なかなか合う環境が見い出せず、咲希さんと向き合うために、昼間の仕事を辞めることを考えたと言います。その時、養護教諭をしている妹から「学校に戻ることでだけを急がず、家庭に居ながらも咲希ちゃんに合った形で地域や社会と繋がることを考えてみていいのでは」とアドバイスをもらいました。その言葉をきっかけに、咲希さんが咲希さんらしく成長し、それを見守りながら自分でできることを探そうと出会ったのが「NIJINアカデミー」でした。

「知らないことばかりで、毎日がアップデート」と笑う竹村さん。メタバース空間の教室で、体育の授業を受けたり、教育実習に参加したりと、時代に合った新しい学びについてさまざまなことに挑戦し、ついに開校まで辿り着きました。今後は、子どもたちとまちへ飛び出し、地域や社会とのつながりを学べる地域キャンパスなども企画しています。

「まずは遊びに来る感覚で問い合わせさせてほしい。その子らしさを大切にしながら、その子が持っている強みを引き出し、自信や成長につながる居場所になれば」と話します。咲希さんはもちろん、竹村さん自身も新たな「自分らしさ」を育みながら、この矢板校で、子どもたち一人ひとりに寄り添う新しい学びのカタチへ挑戦します。



Editor's Note 編集後記

▷もし今年も全国入選出来たら、TAKIBIの皆さんに報告と一緒に写真を撮りたいと思い、実践したのがP.14。やっぱり自分たちだけが取り上げられるのはしっかりこないです。皆さんがいてこそこの3年連続受賞。今後も一緒に楽しみましょう!(DYC)

▷スローワーク矢板のトークイベント「スロトーク」に、ゲストスピーカーとして広報担当で参加しました!緊張でマイクが飛びそうなくらい手が震えましたが、直接感想やご意見を伺うことができ、とても貴重な時間に。ありがとうございました!(あ)